

必要がありますので、しばらく様子を見たいなあとあります。現在の給食センターも古くなって、何年後には建て替える必要があります。ですから、それまでにゆっくり結論を出して、納得してやっていただけたらと思いますね。

小林 今まで赤羽根が独自でやっていた行事はどうなりますか？

市長 納涼祭とかですか？

小林 はい。

市長 そうですね、今は市全体の行事と、各地域でやっている行事がありますね。例えば今小林君が言われた納涼祭は、田原でも同じように夏まつりをやっていたんですが、今回合併して、市民の新しいお祭りとか、一体感を出すための行事をどうしたらよいか皆さんで考えていただいて、赤羽根は納涼祭をやったんですが、田原は夏まつりを中止したんです。それで10月に市全体の行事として市民まつりをやったんですが、そういった行事はこれから一本でやるようになっていく気がします。まあこれは、皆さんの意見を聞きながら市全体のことを一緒に考えていきたいと思えますね。それから、各地域の個性ある行事は続けていただいて。赤羽根地域はサーフィンの世界大会が開催されるほどの海の財産がありますので、例えばそうした大会と併せて、地域の行事をやった



こばやしむつみ
小林 睦くん

赤羽根中学校3年生

堅くて寡黙なイメージを持っていたのですが、とても親近感のある方でした。赤羽根のことをいろいろと考えてくれていて、疑問が解決しました。

りすれば、より盛り上がるんじゃないかと思えますね。あとは、校区や地区で、例えば野田校区はサンテパルクで花火を出したりしていますので、それぞれの地域にあったやり方でやっていただけたらいいと思います。

小林 はい、ありがとうございます。

市長 どうもありがとうございます。

小林 ありがとうございます。

川口 東部中学校の川口です。田原市はアメリカのジョージタウン市と姉妹提携していますが、今後は赤羽根地区を含めて、どのような国際交流を考えていますか？

市長 今、田原市はアメリカのジョージタウン市と姉妹提携、プリンストン市と友好都市提携をしていますが、それから赤羽根町が交流している中国の昆山市とあわせて外国の交

流都市は3つあります。それに成章高校がジョージタウンのスコット高校と、渥美農校がオランダの高校と交流していますし、ほかにいろいろな団体が独自に外国と交流しています。非常に国際色豊かだと思えますね。それと、21世紀はあなた方の時代になるんですけど、国際化というところで、いろいろな外国の人と仲良く交流をして、お互いに伸びていかなければいけない時代が来ますので、市としても力を入れていきます。特に現在は、経済の面でつながりが深い都市と提携をしています。これからも、いろいろな国と交流していくことと思っています。世界は広くて、先進国もあるし、途上国もあるので、どこというわけではなくて、いろいろな国と仲良くする必要があります。また、地理的に東南アジアとも仲良くする必要があります。

ね。国際交流でいちばん大事なことは、中学生の皆さんのように若い方が、いろいろと体験をしながら教養をつけて、立派な日本人として外国の人と対応していただくことだと思っています。ぜひ、がんばってください。

川口 A L T（英語指導助手）の先生は、今後もっと増やす予定ですか？

市長 そうですね、これは学校の教科との関係もありますけど、英語教育は小学校にも充実されていくと思いますし、市になって範囲が広がったことや今の状態を見ておりまして、増やしていく必要があるのかなと思っています。

川口 ありがとうございます。

市長 はい。

ありがとうございます。

市長 次の方どうぞ。河合さん？

河合 野田中学校の河合です。私は総合学習の時間で地震のことを調べたのですが、田原市の地震対策についてもっと知りたいです。

市長 地震のことですね。今心配されているのが東海地震、それから東南海地震があるわけですが、田原市はそれぞれの地震の強化地域に指定されています。それで、市民の皆さんは大地震の経験がないものですが、訓練などが必要なんです。それで、市でいろいろなことをやって